

第4次朝来市環境基本計画 施策指標の推移

資料3-1

基本目標	基本施策	施策名		令和8年度の 実施予定	評価指標		単位	現状値 (R5)	実績値	目指すべき 方向性	備考	
									R6			
基本目標1【脱炭素】					省エネ等の環境にやさしいまちづくり が進められると感じる市民の割合			%	18.2	19.8	↗	総合計画 目標値 (R11) 16.5%
1 【脱炭素】 カーボ ンニ ュート ラル の実 現に 向け て、 人と 地球 にや さし いま ちを つく りま す	1 省エネ ルギー 対策 の推 進	(1) 公共施設の脱炭素化に向けた率先的な 再生可能エネルギー設備の導入、ZEB 化	B:継続	①	市の事務事業に係る温室効果ガス 排出量	t-CO2	6,631 (R4)	7,701 (R5)	↘			
			B:継続	②	公用車への次世代自動車導入台 数	台	18	20	↗			
		(2) 家庭・事業所への再生可能エネルギー設 備の導入促進、導入効果等の情報提供	B:継続	①	省エネ対策促進に資する住宅リ フォーム事業の件数	件	63	49	↗			
		(3) 脱炭素型ライフスタイル・ビジネススタイル への転換促進	A:拡充	①	省エネに関する広報媒体を活用し た情報発信件数	件	1	1	↗			
	2 再生可 能エネ ルギー の導入 拡大	(1) 公共施設の脱炭素化に向けた率先的な 再生可能エネルギー設備の導入、ZEB 化	B:継続	①	公共施設の大規模改修時における 再生可能エネルギー及びZEB化の 検討件数	件	1	0	↗			
			B:継続	②	公共施設の大規模改修時における 再生可能エネルギー及びZEB化の 導入件数	件	0	0	↗			
		(2) 避難所や防災拠点への自立・分散型電 源の導入促進	B:継続	①	市所有の防災用蓄電池や非常用 電源の備蓄台数	台	7	9	↗			
		(3) 家庭・事業所への再生可能エネルギー設 備の導入促進、導入効果等の情報提供	B:継続	①	—							
		(4) 事業者等との連携による地域特性を活 かした再生可能エネルギーの導入拡大	B:継続	①	生野マイクロ水力発電所発電量	kWh/月	10,000	9,700	→			
		(5) 南但グリーンセンターでのバイオガス発電 及び熱利用の推進	B:継続	①	南但グリーンセンターにおけるメタン 化資源化量	t	207	221	↗			
	3 脱炭素 型まち づくり の推 進	(1) 利便性向上・利用促進による持続可能 な公共交通体系の構築	B:継続	①	—							
		(2) 次世代自動車の普及促進、充電インフラ 整備の推進	A:拡充	①	—							
		(3) 脱炭素に資する交通・物流の普及促進	B:継続	①	路線バスの乗車人数（年間）	人	199,640	174,105	↗	※アコバスは、R6年度末に廃 止。デマンドバスは、R6年度か ら順次開始。（生野地域R6.4、朝来 地域R6.10、和田山・山東地域R7.4）		
	B:継続		②	鉄道乗車人員（年間）	人	403,690	403,690	↗	※JR西日本より			
	4 気候変動 影響への 適応	(1) 熱中症等の健康被害対策の推進	B:継続	①	あらゆる手段を活用した熱中症予 防の普及啓発回数	回	4,692	3,163	↗	市ホームページ、広報朝来、音 声告知、ポスター掲示、啓発チ ラシの配布		
			B:継続	②	高齢者への周知を行った件数	件	38	45	↗			
			B:継続	③	保育園・こども園における熱中症予 防啓発チラシの配布枚数	枚	785	824	↗			
			B:継続	④	乳幼児健診や各種教室における子 どもの熱中症予防啓発チラシの配 布枚数	枚	176	145	↗			
			B:継続	⑤	クールスポット設置箇所数	箇所	15 (R6)	15 R6	↗			
		(2) 自然災害対策の推進	B:継続	①	防災・減災対策等、災害に強いま ちづくりが進められていると感じる市 民の割合	%	28.2	28.4	↗	・現状値（R5）の数字修正 25.7→28.2		
			B:継続	②	地区防災計画策定率	%	55.0	56.3	↗			
			B:継続	③	一斉避難訓練への市民参加率	%	19.8	0.0	↗	※R6は訓練中止		
			B:継続	④	防災に関する出前講座実施件数	件	8	9	↗			
			B:継続	⑤	浸水センサ設置台数	台	2	13	↗			
		(3) 気候変動による被害軽減を通じたよりよ い生活の実現に資する適応策の普及啓 発	B:継続	①	気候変動の適応策に関する広報 媒体を活用した情報発信件数	件	1	1	↗			
B:継続			②	ため池の定期点検箇所数	箇所	14	7	↗	・農業用ため池の低水位管理 ・農業用ため池の巡回点検			

基本目標	基本施策	施策名	令和8年度の 実施予定	評価指標	単位	現状値 (R5)	実績値		目指すべき 方向性	備考
							R6			
基本目標2【自然共生】				自然環境保全の取り組みが進められている と感じる市民の割合	%	31.7	35.7	↗	総合計画 目標値 (R11) 39.9%	
2 【自然共生】 ネイチャー ボジティブ の実現に 向けて、 誇るべき 豊かな自然 を守り活 かすまち をつくり ます	1 生物多 様性 の保全	(1) 希少野生動物植物の生息・生育環境の保 全、生息・生育状況の現状把握・情報 発信	B:継続	① (仮称) 朝来市自然環境保護施 設の入館者数	人	—	—	↗	※令和8年度に供用開始予定	
			B:継続	② オオサンショウウオを学ぶ見学会、夜 間観察会の開催回数	回	4	4	↗	R4 180人 R5 172人 R6 678人	
			A:拡充	③ いきもの図鑑への投稿件数	件	21	575	↗	R6.2月から開始	
		(2) 生物多様性地域戦略・レッドデータブック の策定、自然共生サイトの認定推進	A:拡充	① 自然共生サイト申請件数	件	0	0	↗		
		(3) 特定外来生物による生態系被害の拡大 防止、新たな種の侵入防止・情報発信	B:継続	① 生物多様性に関する広報媒体を 活用した情報発信件数	件	4	6	↗	ホームページ、グリーン作戦チラ シ、広報、ロビー展示	
	2 森林の保 全	(1) 森林の計画的な整備の推進、適正管理 の担い手の確保	B:継続	① 間伐面積	ha	332 (R4)	278 (R5)	↗	※兵庫県林業統計書より 県の造林事業に影響	
			B:継続	② 林業労働者数	人	51 (R4)	57 (R5)	↗		
			B:継続	③ 木材生産量（素材生産量）	m	29,431 (R4)	25,120 (R5)	↗		
		(2) J-クレジット制度を活用した森林整備の 促進	B:継続	① J-クレジット販売量	t-CO2	1,423	401	↗		
		(3) 公共施設への率先的な市産・県産材の 利用促進	B:継続	① 公共施設への市産・県産材の使用 件数	件	0	0	↗		
		(4) 住宅等への市産材の利用促進による林 業・木材産業の活性化	B:継続	① 薪ストーブ等設置促進事業補助件 数	件	5	5	↗	・木製玩具配布数 R6 114	
		(5) 木質バイオマス発電の燃料となる未利用 材の搬出促進、安定供給体制の構築	B:継続	① 未利用材搬出支援量	t	2,570	6,528	↗		
	3 農地の保 全	(1) 農地バトロールや農地利用意向調査等 による遊休農地の発生防止・解消	B:継続	① 遊休農地面積	ha	25	24	↘		
		(2) 新規就農者の確保や担い手の育成	B:継続	① 認定農業者認定数（法人含む）	経営体	34	36	↗		
			B:継続	② 認定新規就農者数（家族協定含 む）	人	16	18	↗		
		(3) 地場農産物の地産地消による地域農業 の維持・推進	B:継続	① 学校給食への地元食材提供率	%	36	36	↗		
		(4) 環境保全型農業の推進、普及啓発	B:継続	① 環境保全型農業直接支払交付金 実施面積	ha	92	97	↗		
		(5) 有害鳥獣被害のさらなる縮小に向けた防 護柵の設置や捕獲活動の促進	B:継続	① 有害鳥獣による農林業被害額	千円	3,503	3,506	↘		

基本目標	基本施策	施策名	令和8年度の 実施予定	評価指標	単位	現状値 (R5)	実績値		目指すべき 方向性	備考		
							R6					
基本目標3【資源循環】				1人1日当たりのごみ排出量（家庭系ごみ）	g/人・日	562	549		→	総合計画 目標値（R11） 567g/人・日		
3 （資源循環） 「サイキウライエコノミイ」の実現に向けて、 ごみを減らして資源が循環するまちをつくりまします	1	3R+Renewableの推進	(1)	ごみをできるだけ出さないライフスタイル・ビジネススタイルへの転換促進	B:継続	①	ごみ総排出量	t	7,958	7,639	↘	
					B:継続	②	3R+Renewableに関する広報媒体を活用した情報発信件数	件	20	22	↗	ホームページ、広報、小学校、中学校
			(2)	生ごみの水切り・資源化や食品ロスの削減によるごみ減量化の促進	B:継続	①	フードドライブ実施回数	回	1	2	↗	食品ロス削減月間、環境フェスタ
					B:継続	②	リサイクル率	%	25.6	25.8	↗	
			(3)	ごみの分別・出し方ルール等の浸透・定着による分別の徹底、資源集団回収の活性化	B:継続	①	リサイクル率	%	25.6	25.8	↗	
					B:継続	②	集団回収回収量	t	506	441	↗	※紙類（新聞・雑誌・ダンボール）の回収量
			(4)	マイバッグやマイボトルの利用、使い捨てプラスチック製品の使用削減等によるプラスチックごみの減量・資源化	B:継続	①	プラスチック類の排出量	t	144	140	↘	
					B:継続	②	ペットボトルの排出量	t	42	40	↘	
	2	ごみの適正処理の推進	(1)	ごみ処理施設の適正な維持管理・更新	B:継続	①	高効率原燃料回収施設（ごみ焼却処理施設）委託業者とのモニタリングの開催回数	回	12	12	↗	※監視委員会等の実施回数5回
					B:継続	②	最終処分場の埋立量	t	1,365	1,076	↘	
			(2)	ごみの不法投棄やポイ捨ての防止対策の推進、環境美化活動の促進	B:継続	①	不法投棄ごみパトロールの回収量	kg	4,790	4,860	↘	
					B:継続	②	ごみの適正処理に関する広報媒体を活用した情報発信件数	件	2	2	↗	
			(3)	生活弱者に配慮したごみ収集の推進	B:継続	①	各自治協議会におけるごみ出し支援事業契約件数	件	2	2	↗	
			(4)	災害廃棄物の適正かつ円滑な処理体制の構築	B:継続	①	—					

基本目標	基本施策	施策名	令和8年度の 実施予定	評価指標		単位	現状値 (R5)	実績値	目指すべき 方向性	備考	
								R6			
基本目標4【健全・快適】				道路や公園にゴミが目立つと感じる市民の割合		%	22.0	15.9	↘	総合計画 目標値 (R11) 14.4%	
4 【健全・ 快適】 健全で 快適に 生活で きる良 好な環 境が確 保され たまち をつく ります	1 健全な生 活環境の 保全	(1) 県と連携した環境監視の継続	B:継続	①	公共水域水質調査箇所数	箇所	14	14	→		
			B:継続	①	公害等に関する市民からの通報件数	件	12	16	↘		
		(2) 公害に関する現状の把握と意識啓発の実施	B:継続	②	公害防止協議会開催回数	回	3	3	→		
			B:継続	①	上水道事業の経常収支比率	%	113.7	110.3	→		
		(3) 上水道事業の適正な運営	B:継続	②	水道水での水質検査基準超過項目数	項目	0	0	→		
			B:継続	①	下水道施設（浄化センター）の適切な運転管理	項目	0	0	→		
		2 快適な生 活環境の 形成	(1) 自然・歴史・文化が調和した魅力ある景観の保全・継承	B:継続	①	無形文化財の映像記録作成件数	件	1	1	↗	
				B:継続	①	指定・登録文化財件数	件	247	247	↗	
	(2) 重要な文化財の保存・活用や価値・魅力の市内外への情報発信		B:継続	②	歴史文化遺産への観光客入込者数	人	427,875	448,326	↗		
			B:継続	①	良好な住生活環境が整備されていると感じる	%	28.9	32.9	↗		
	(4) 空き家の発生抑制・適正管理や利活用の促進に資する補助金の交付・空き家バンク等の情報発信		B:継続	①	空き家バンク物件の成約件数	件	20	16	↗		
			B:継続	②	老朽空き家等の除却件数	件	9	5	↘		
	(5) 生活道路等の整備		B:継続	①	早期に修繕措置が必要な橋梁数	橋	10	5	↘		
			B:継続	②	「市道の損傷等通報フォーム」活用件数	件	17	22	→		

基本目標	基本施策	施策名	令和8年度の 実施予定	評価指標	単位	現状値 (R5)	実績値	目指すべき 方向性	備考
							R6		
基本目標 5【共創力】				環境学習に関するイベントに参加したことが ある市民の割合		8.1	7.6	↗	・総合計画 目標値 (R11) 9.5% ・現状値 (R5) の数字修正 8.2→8.1
5 （「共創力」）一人ひとりが環境について考え、みんなで環境保全に取り組むまちをつくりまします	1 環境学習・環境教育の推進	(1) あらゆる機会を捉えた幅広い世代への環境学習、自然とのふれあいの推進	B:継続	① ごみ分別に関する出前講座実施回数	回	1	0	↗	
			B:継続	② 新たな自然環境体験（グリーンツーリズム）コンテンツの創出件数	件	2	0	↗	
			B:継続	③ 歴史文化遺産の学びの場への参加者数	人	9,696	10,223	↗	
		(2) あらゆる機会を捉えた子どもたちへの環境教育の推進	B:継続	① 小学校5年生での自然学校の実施校数	校	9	9	→	
			B:継続	② 小学校3年生を中心にした環境体験教育の実施校数	校	9	9	→	
			B:継続	③ 市内小中学校への出前講座（文化財）の参加者数	人	300	299	↗	
			B:継続	④ 自然とのふれあいに取り組んだ保育所・こども園数	園	13	13	→	公立7園、私立6園
			B:継続	⑤ 地域学校協働活動のうち、自然体験活動の日数	日	12	25	↗	
			B:継続	⑥ 浄水場の見学実施小学校数	校	3	4	↗	
			B:継続	⑦ 浄化センターの見学実施小学校数	校	3	4	↗	
			B:継続	⑧ 南但グリーンセンターの見学人数	人	235	230	↗	
			B:継続	⑨ マイエンザの出前授業の開催回数	回	3	3	↗	
			B:継続	⑩ マイエンザの出前授業の参加人数	人	47	75	↗	
			B:継続	⑪ 環境推進室主催の環境体験事業の開催回数	回	4	4	↗	
			B:継続	⑫ 環境学習・環境教育に関する広報媒体を活用した情報発信件数	件	3	3	↗	広報、ホームページ、ロビー展示
		(3) 人材育成と活躍の場の提供	B:継続	① 指導者育成機会の開催回数	回	2	7	↗	
		(4) 多様な媒体を活用した環境情報の発信	B:継続	① —				↗	
	2 環境保全活動の推進	(1) 環境保全活動への参加機会の創出や情報発信	B:継続	① グリーン作戦、クリーンアップ作戦の開催回数	回	2	2	↗	
			B:継続	② グリーン作戦、クリーンアップ作戦でのごみ収集量	t	9	7	↘	目指すべき方向性修正 （ノをへに）
		(2) 環境保全団体との情報共有や活動支援	B:継続	① 環境保全活動に関する情報発信件数	件	1	1	↗	
		(3) 環境保全活動に関する理解促進や意識向上	B:継続	① 各地域自治協議会における環境保全に関する補助金交付件数	件	150	160	↗	
			B:継続	② アダプト制度の登録団体数	団体	15	15	↗	
			B:継続	② 自然保護団体	団体	1	1	↗	